

市町村名	国頭村						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	ヤンバルクイナの森観察センター(仮称)等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	園域の特色を生かした産業の振興		
					- 12 - (3)		
事業内容	平成24年度に策定した構想を下に、「ヤンバルクイナ観察小屋」等の既存施設の連携と、観光地域づくり及び環境教育の有効な利活用を図るため、既存施設に隣接する位置に、集客用カフェ及び地域特産品販売所を兼ねたヤンバルクイナの森観察センター(仮称)や、ヤンバルクイナの飼育観察、ヤンバルクイナの生態を知ってもらい保全のための教育及び普及、啓発の促進のため、カメラシステムを導入する他、既存クイナふれあい公園の進入道路の改修を図り、計画期間内で関連施設を整備する						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	80,513	-			
		(b)予算現額	99,530	62			
		(c)増減額(b-a)	19,017	62			
		(d)繰越額	-	53,888			
		A. 計(b+d)	99,530	53,950			
		B. 執行済額	45,549	53,950			
		うち交付金充当額	36,439	39,110			
		次年度繰越額	53,888	-			
		執行率(%) (B/A)	45.8%	100.0%			
	予算の状況の説明	観察センター関連の建築工事において、専門業者(型枠業者・鉄筋業者)の確保に不測の日数を要したため他工事にも影響し工期の変更があった。工期変更に伴い一部工事(ビジターセンター建築関連)において前払金をH25年度に支出し、残事業費については繰越となった。施設飲料水確保のため給水ろ過装置設置により19,017千円の予算増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	実施設計・建築工事・機械設備工事・電気設備工事・道路改修工事・情報設備整備の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
			()	()	()	()	
達成状況説明	平成25年度において、進入道路実施設計・改良工事(L=200m)を完了し、ビジターセンター整備については、実施設計を完了した。[ビジターセンター機械電気設備工事や給水ろ過装置設置工事]については、建築工事に付随する工事は建築工事の専門業者確保に不測の日数を要したため平成26年度へ事業を繰り越こして整備した。また、情報施設の整備についても建築工事の遅れにより繰り越しとなり、平成26年度に完成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	ヤンバルクイナの森観察センター(仮称)の建設完了	目標	()	(建設完了)		()	()
		実績		建設完了			
	ヤンバルクイナの観察情報施設の整備	目標	()	(情報施設の整備)		()	()
		実績		情報施設の整備			
	くいなふれあい公園進入道路の改修(幅員3.5mを5mへ拡張)	目標	()	(道路改修)		()	()
		実績		道路改修			
	進捗状況説明	当該施設が整備されたことにより、施設内の交通の安全性が確保されたことと、ビジター施設活用による地域産物販売やクイナ保護・保全に対する教育及び普及啓発活動が促進される。また、既存施設と連携したイベント(クイナまつり、パークゴルフ大会等)開催が可能となったため、今後は集客増が見込まれる。また、特産品(農産物・クイナグッズ)販売などの販路も確立されたため、地域の活性化を図る。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	くいなふれあい公園の位置する地域は、国頭村の東部にあり自然には恵まれているものの、観光施設等がないため県内外及び地域の利用者が微減している。本村の自然資源の活用やヤンバルクイナなどの希少種の保護の啓発も併せた、着地型観光及び滞在型観光の強化を図るため観察センター(仮称)を整備した。 設置場所や設計の見直しにより工事発注に遅れが生じたことや、ピジターセンター建築工事において、県内での民間による大型商業施設や大型ホテルの建築工事が多くあり、専門業者が資金の高い民間工事へと流出し工共工事での確保が厳しい状況で、専門業者の確保に不足の日数を要した。そのため、建築工事の遅れに付随して他の関連工事(機械電気設備・給水ろ過装置・情報施設)も繰り越したとなった。そのため、工事の早期発注や適正な工期設定に努める必要がある。	既存のクイナパークゴルフ場やクイナ生態展示施設等の利用促進に努め、クイナの生態観察・飼育の技術向上による啓発及び環境教育の場として、旅行代理店やHPを活用した情報発信に努める。 また、事業実施については、早期発注や適正な工期設定については、工種等を十分把握し専門工事の集中する年度末を考慮した発注に努める。
今後の取り組み方針		
くいなふれあい公園内にある施設を活用した各種イベント(クイナまつり・クイナ工作教室・パークゴルフ大会・キャンプ等)の開催や、自然環境保全、環境教育による啓発を図るとともに、学校関係、旅行代理店との情報交換を活発に行い、村内外からの利用者増による地域活性化を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		99,499	99,499	75,549
				市町村負担金
				23,950
				交付対象外経費
				0
国頭村 99,499千円 委託費 9,002千円 北斗設計(株) 2,156千円 くいなふれあい公園進入道路測量設計 知念建築設計事務所 4,297千円 くいなふれあい公園ピジターセンター建築設計 知念建築設計事務所 2,549千円 くいなふれあい公園ピジターセンター施工監理 工事請負費 90,497千円 (有)陽功建設 33,831千円 くいなふれあい公園ピジターセンター建築工事 (有)金雅建設 25,159千円 くいなふれあい公園ピジターセンター機械・電気設備工事 (有)エヌ・ティ・シー 10,768千円 くいなふれあい公園ピジターセンター給水ろ過装置設置工事 (株)トーマ電子サービス 6,501千円 クイナ観察カメラシステム設置工事 (有)陽功建設 14,238千円 くいなふれあい公園進入道路改修工事				
資金の流 点、検 査 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については、ろ過装置設置の追加により19,017千円の増額となったが、沖縄県積算基準に準じており、適正な規模であったと考えている。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途については、工事完了段階で検査を実施しており目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	国頭村						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3 - 観光地の安全・安心・快適な観光地づくり促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					- 1 - (1)		
事業内容	自然資源を利用する観光客やビーチ利用者等へのサービス向上を図るため、観光地内の老朽化した施設(公衆トイレ・シャワー等)を整備し、施設利用者の利便性及び快適性の向上とリピーター確保を目指す。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	41,500	-			
		(b)予算現額	30,932	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 10,568	-			
		(d)繰越額	-	19,736			
	A. 計(b+d)	30,932	19,736				
		B. 執行済額	11,116	19,736			
		うち交付金充当額	8,892	15,789			
		次年度繰越額	19,736	-			
	執行率(%) (B/A)	35.9%	100.0%				
予算の状況の説明	当初計画では設置場所が海波の浸食による影響を懸念し地盤高上げを想定していたが、場所の変更により地盤高上げに係る経費10,568千円が減額となった。。また、申請許可の遅れや専門業者(鉄筋業者・型枠業者)の確保に不測の日数を要したため工期変更となった。事業費については前払金額を当該年度に支出し残額については繰越により実施した。 なお、平成25年沖縄振興交付金事業計画の振興計画該当箇所に第3章 - 1 - (1) - イと記載しているが誤りであり、検証シートの沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所には第3章 - 3 - (2) - ウと記載している。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設建築工事・機械工事・電気工事の実施	目 標	(工事の実施)	()	()	()	
		実 績	工事の実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	保安林解除等の申請及び許可の遅れや、専門業者(型枠業者・鉄筋業者)の確保に不測の日数を要したこと、度重なる台風の影響による工期の変更が生じたものの、辺土名ビーチトイレ・シャワー施設の整備が計画どおりに達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設工事完了	目 標	()	(工事完了)	()	()	()
		実 績		工事完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	辺土名ビーチトイレ・シャワー施設の整備により、観光客やビーチ利用者へのサービス向上や安心・安全・快適性が確保された。 平成26年9月18日に供用開始されている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当ビーチは地域や観光客に利用されているが、老朽化による安全性や衛生面、防犯面に支障があり現在は使用不可となっている。また、位置的にも保安林内の奥まった場所に設置されているため防犯上及び自然環境にも影響が懸念されていた。施設整備が完了したことにより、安全性や衛生・防犯面の安全確保ができ快適なサービスが提供できるとともに、周辺海浜でのレジャー及び遊泳・散策等利用による活性化が図られる。 設置場所の見直しにより工事発注に遅れが生じたことや、保安林解除手続において既存のトイレ施設の代替施設との認識があったため解除申請手続は不要との誤認があり保安林解除申請手続に遅れが生じた。また、工事実施については、県内での民間による大型商業施設や大型ホテルの建築工事が多くあり、専門業者が賃金の高い民間工事へと流出し工共工事での確保が厳しい状況で、専門業者の確保に不足の日数を要した。そのため、建築工事の遅れに付随して他の関連工事(機械電気設備)も繰り越しとなった。そのため、工事の早期発注や適正な工期設定に努める必要がある。	設置場所を変更したことにより、利用者の利便性や安全性が確保され、辺土名ビーチでの遊泳・キャンプ等利用者も増え多様なイベント(ハーリー大会・マリンスポーツ大会等)が開催できる。 また、工事の早期発注や適正な工期設定については、工種等を十分把握し専門工事の集中する年度末を考慮した発注や、諸手続関係も十分に確認し遅延のないよう努める。
今後の取り組み方針		
ビーチ利用者や観光客が安心・安全・快適に施設を利用できるよう、施設内外の清掃や点検など日常の維持管理を徹底する。また、ビーチを利用したイベント(ハーリー大会・マリンスポーツ大会)等の多様な開催を計画する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30,852</td><td>30,852</td><td>24,681</td><td>6,171</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	30,852	30,852	24,681	6,171	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
30,852	30,852	24,681	6,171	0										
国頭村 30,852千円 委託費 842千円 工事請負費 30,010千円 知念建築設計事務所 842千円 (有)のうけん 13,748千円 (有)みやしろ 16,262千円 (辺土名ビーチトイレ建築施工監理) (辺土名ビーチトイレ建築工事) (辺土名ビーチトイレ機械・電気設備工事)														
資金使途の流 点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、設置場所の変更により基礎工等に係る経費10,568千円が減額となったが、沖縄県積算基準に準じており適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、工事完成段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	国頭村						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 多自然川づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 1 - (1) - イ		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～31年度		沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 - 1 - (1)	
事業内容	H24年度に実施している自然環境調査及び推進計画策定業務を基に、H25年度は、基本設計を実施するものである。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,992	-	4,668	-	
		(b)予算現額	18,992	-	4,668	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	16,409	-	4,668	
		A. 計(b+d)	18,992	16,409	4,668	4,668	
	B. 執行済額		2,583	16,409	0	4,655	
	うち交付金充当額		2,066	13,127	0	3,724	
	次年度繰越額		16,409	-	4,668	0	
	執行率(%) (B/A)		13.6%	100.0%	0.0%	99.7%	
予算の状況の説明		・基本設計を進めていく中で、地域との調整や関係権利者との調整に期間を要した為、繰り越したものである。 ・平成26年度成果目標一覧表(公表版)の計画期間において、H24～H25と記載されているが、実際はH24～H31であり、成果目標に誤りがあった為、検証シート事業実施(予定)年度では、H24～H31と記載している。 ・平成25年沖縄振興交付金事業計画の振興計画該当箇所に第3章 - 1 - (2) - イと記載しているが誤りであり、検証シートの沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所には第3章 - 1 - (1) - イと記載している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・自然環境調査(H24繰越) ・推進計画策定業務(H24繰越) ・基本設計	目 標	(自然環境調査 推進計画策定)	(基本設計)	()	()	
		実 績	自然環境調査 推進計画策定	基本設計			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・基本設計として、[ゾーン毎整備イメージの検討・修景基本検討・現地測量]を実施した。 ・ゾーン毎整備イメージの検討について、住民参加ワークショップ等により見直しを行った。 ・修景基本検討について、護岸・擁壁・転落防止柵・管理通路舗装・親水・休憩施設・植栽等について、デザインや仕様、規格等の検討を行った。 現地測量について、河川整備にかかる用地の現地測量を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	辺土名川河川整備に係る調査業務及び基本設計の実施	目 標	()	(調査業務及び 基本設計の実施)	()	()	()
		実 績	()	(調査業務及び 基本設計の実施)	()	()	()
	進捗状況説明	・基本設計として、[ゾーン毎整備イメージの検討・修景基本検討・現地測量]を実施した。 ・基本設計の完了により、下流部から中流部の実施設計、工事発注が可能となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・辺土名川の多自然川づくりを推進していくことで、辺土名川を軸に中心市街地に活気が戻り、周辺住民の生活環境が向上する目的で実施する。 ・住民説明会及びワークショップを開催したなかで、護岸、擁壁、転落防止柵、管理通路舗装、親水、休憩施設、植栽等について、デザインや仕様の規格等が主に発案された。	・第1回のワークショップから、第2回、3回とワークショップを開催し、護岸、擁壁、転落防止柵、管理通路舗装、親水、休憩施設、植栽等について、デザインや仕様の規格等の選定において決定し、工事積算へと反映させることができた。
今後の取り組み方針		
・H26年度は基本設計業務を基に、実施設計を実施するとともに、河川工事を実施する。 ・H27年度は河川工事に伴う生物保護委託業務、現場管理技術業務、河川工事、用地物件鑑定業務、用地取得、物件移転補償を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
国頭村 4,655千円 委託料 4,655千円 (株)国建 4,655千円 基本設計にかかる委託業務				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,655	4,655	3,724	931	0
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については不要額は13千円であり、適正な規模であったと考えている。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		